

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		第三者評価受審年度			令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (元年度)	改善計画 (元年度末時点)	実施状況 (2年度末時点)	実施状況 (年度末時点)	
情報発信をして広く社会にアピールしていくことについて	<p>1. A型利用者以外にもだけでなく、障害者を5～6名雇用しており、事業所のアピールとなっている。</p> <p>2. 現在ある広報誌は、会員通信として発行しているが、関係者にも広げて地域にアピールするよう改善が求められる。</p>	<p>1. 他のA型でやってない障がい者雇用を進め内外に積極的にアピールしていく。</p> <p>2. 一般広報誌とすると利用者の氏名・顔写真の掲載などの課題が残っており、論議を進めたい。</p>	<p>1. 利用者以外の障がい者雇用は、ハローワークでの理解もあり、区内のB型事業所等の認知度が上がり問い合わせが多くなってきた。</p> <p>2. コロナ禍で家族会も開けず、論議を深めることができなかった。</p>		
利用者への支援の強化のための情報の共有化と従業員の研修の強化について	<p>1. 支援者間で利用者の情報が共有ができるように記録の充実が望まれる。</p> <p>2. 従業員の意識改革が求められており、研修の強化等を通して利用者への支援を強化したい。</p>	<p>1. 現状の日常支援記録簿の充実をすでに始めており、負担なく充実できるように更なる工夫が必要。</p> <p>2. 現在進めている「障害者虐待防止」と障害者差別解消法の研修受講と併せて評価制度を導入することで、事業所にふさわしい人材を育成したい。その取組をしていく中で利用者への支援の強化を実現したい。</p>	<p>1. コロナ感染対策に気が行った為か、一部に日常支援記録簿の単調化が進み、現在その修正をしている。</p> <p>2. コロナ禍のため外部研修に派遣できず、内部で行うチェックリスト対応と資料の配布しかできなかった。</p>		
今後の事業展開と利用者支援について	<p>1. 事務所移転新築と併せてA型の水準を達成できない利用者の処遇方針を明確化する。</p> <p>2. B型事業所の開設などの方針の明確化が求められている。</p>	<p>1. 利用者の多くは、こぶし事業所に残りたいという要望があり、将来B型を併設して多機能型にする。</p> <p>2. 東京都の指導により、当面は利用契約のグループを作り、B型の対象者の受け皿として支援したい。</p>	<p>1. 当面B型に かわる「利用契約のグループ」を作る目標を持っているが、事業所建設 が重くのしかかり物理的に論議ができる時間が取れなかった。</p> <p>2. A型事業所の最賃適用困難な利用者の対応に振り回されている面もある。</p>		

※この様式は、「練馬区障害者日中活動系サービス推進事業運営費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。

# 事業所実施による成果と課題等

(令和2年度 こぶし事業所)

	課 題	今年度の取組
1	福祉施設従業員としての自覚と組織人としての意識を向上させ、利用者1人1人の合ったサービスの向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設の従業員として求められている虐待防止・人権擁護の意識の向上を目指し、外部研修に積極的に参加する。 ⇒コロナ禍で外部研修が開かれず、開かれても派遣できる状況になかった。3年度の課題とする。</li> <li>・利用者個々に合った指導を充実させるため、事業所の方針を徹底させる。 ⇒多くの指導時間や気持ちがコロナ感染予防に向けられた。結果的に利用者の感染がなかったことは、一定の成果と理解している。</li> </ul>
2	現場責任者会議(主任会議)の役割の認識と意識の向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規程やマニュアルの整備や利用者の支援についてを主任会議で論議を深め、主任会議構成員の役割や意識について会議の中で認識を高める。 ⇒処遇困難利用者の対応について主任会議の議題にしたり、相談支援の専門家を入れた意見交換をするなど、 全体の議題として取り組んできたにすることに努力をしてきた。</li> </ul>
3	第三者評価で指摘された課題を改善する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、課題ごとに主任会議で到達点を確認して改善を進める。 ⇒保護者や家族とはコロナ禍で家族会が開かれず、論議するという点では進まなかった。代わりに事業所の「近況報告」を4回発行し。コロナ感染予防の取組を保護者にも呼び掛けて進めたためその点では連携できたと考えている。</li> </ul>
4	中・長期計画の推進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的計画として、新事務所建設の中に多機能型B型施設を開設する。 ⇒事業所建設で、想定外のことや次々に起き、その対応で終始した1年であった。</li> <li>・中期的目標として、第三者評価者の指導に基づき、「勤務評価制度」を全従業員に導入し、それに基づく賃金体系、人事異動等を実施して、事業所の方針の徹底と意識の向上を図る。 ⇒2020年12月の賞与から、勤務評定を導入し、実施したが今後内容の改善が求められている。</li> <li>・当面の課題として、利用者の高齢者対策を兼ねて、東京都の指導に基づきA型事業所内に「利用契約のグループ」を設置する。 ⇒B型開設の前段階として、利用契約のグループを作ることの論議を進めたが、東京都との調整が必要であるためあまり進まなかった。</li> </ul>